

森六
MORIROKU

**2022年3月期 第3四半期
決算補足資料**

東証1部 4249

森六ホールディングス株式会社

2022年2月10日

自動車生産台数

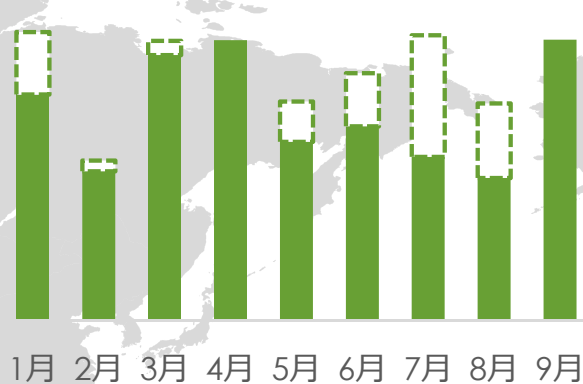
3Qは部品不足が徐々に回復するも、通期では世界的な半導体不足が大きく影響

4Q以降は新型コロナウイルスの変異株等により、先行きは不透明な状況

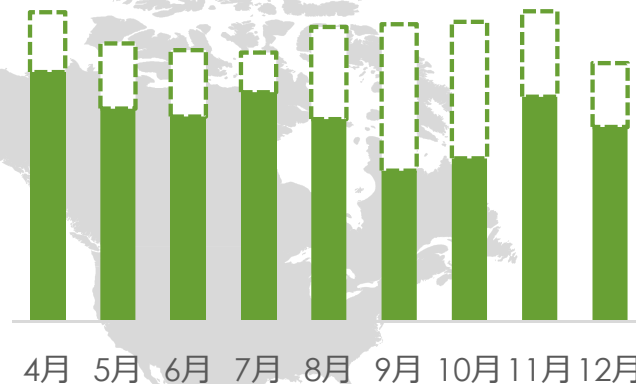
<各国の生産状況>

計画
 実績

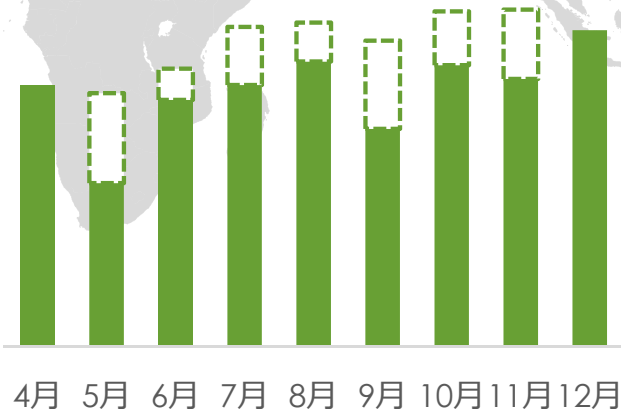
中国



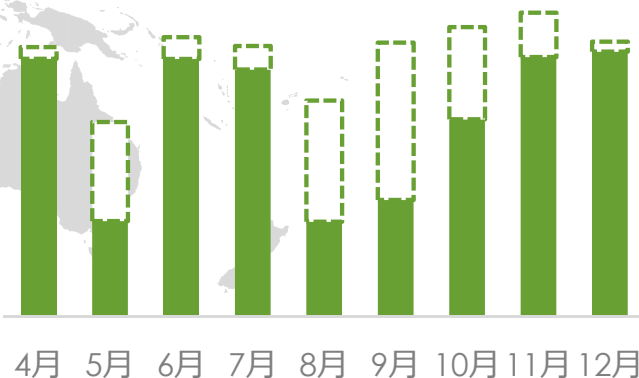
北米



アジア



日本



売上高：半導体不足による減産影響はあったが、部品不足は改善傾向

営業利益：需要回復による増販効果もあったが、半導体不足による減産の影響により減益

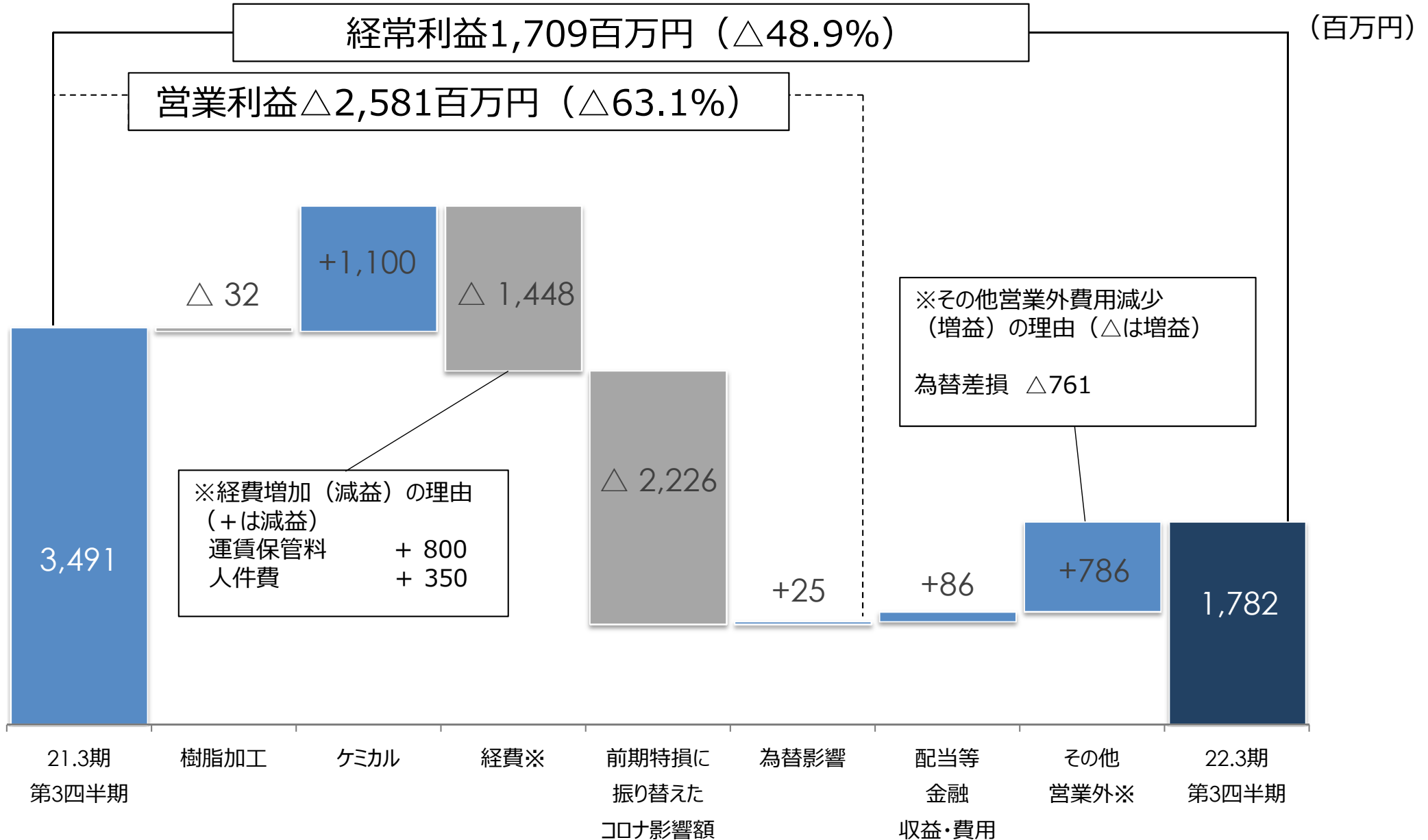
当期純利益：投資有価証券売却益を特別利益に計上

(億円)

	21.3期 第3四半期 実績	22.3期	増減額	増減率
		第3四半期 実績		
売上高	1,121	956 ※1,299	- ※177	- ※15.9%
営業利益	40	15	△ 25	△ 63.1%
営業利益率	3.6%	1.6%	-	-
経常利益	34	17	△ 17	△ 48.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	7	25	18	246.1%
EPS (円)	44.30	153.45	109.15	246.4%
為替(円/\$)【期中平均】	106.1	111.1	5.0	4.7%
klあたりナフサ価格(円/kl) 【期中平均】	28,800円	53,200円	24,400	84.7%

※ 「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の参考値

樹脂加工製品事業の半導体影響を、ケミカル事業の増益によりカバー



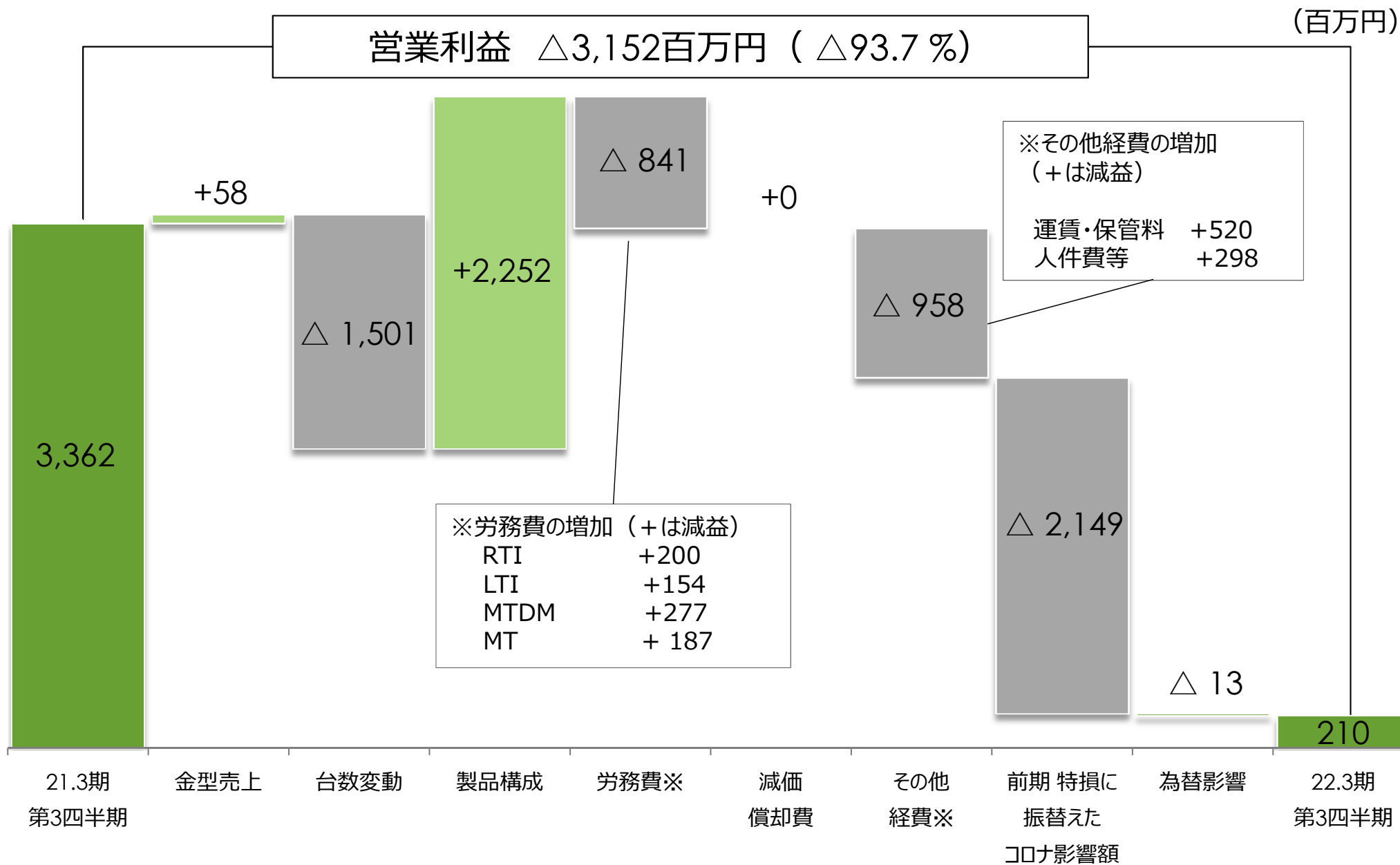
樹脂加工製品事業：半導体不足による減産影響、固定費の負担増により減益
 ケミカル事業：ナフサ価格の上昇に加えて、化学品の需要は回復基調

(億円)

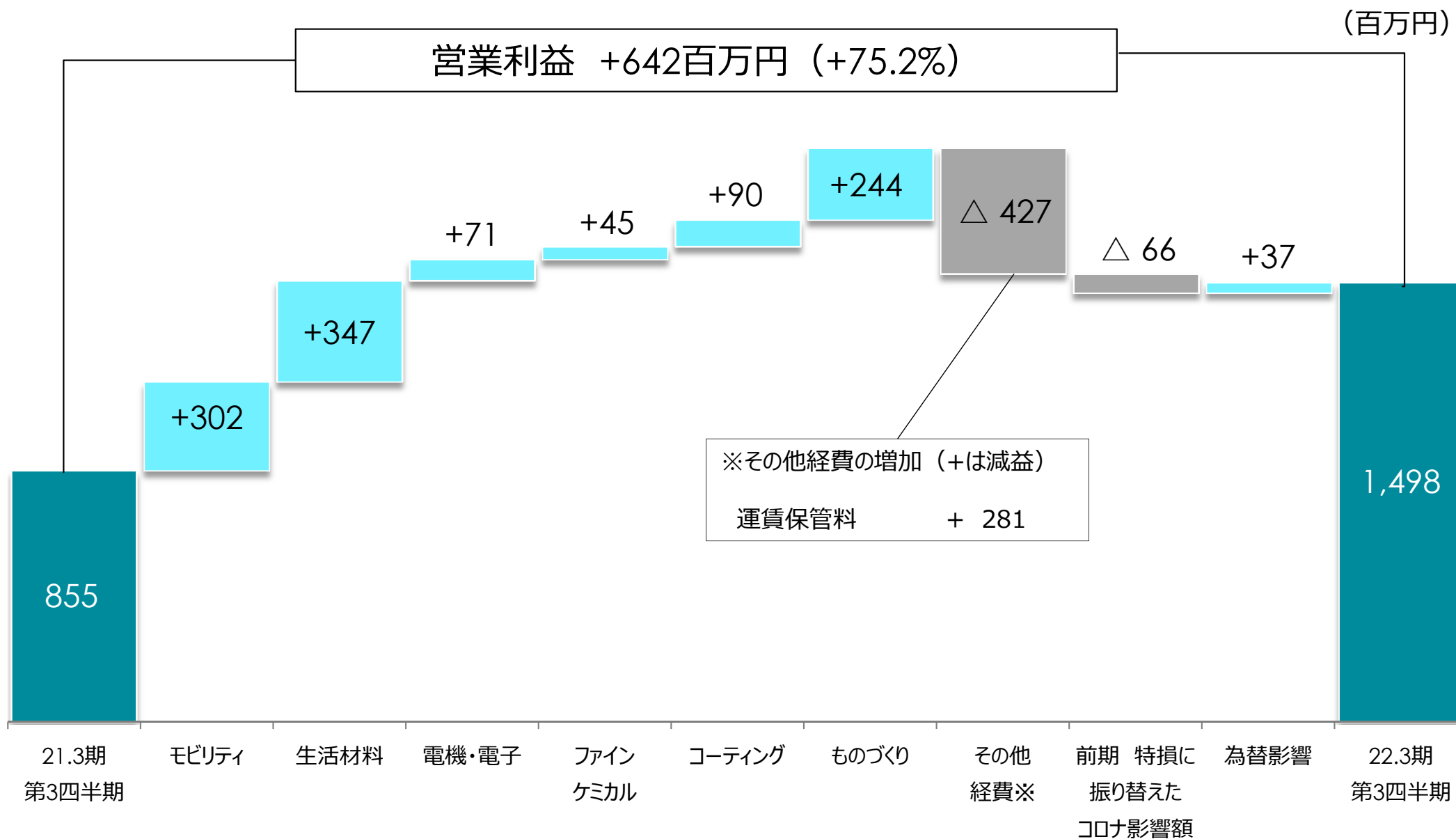
	21.3期 第3四半期 実績	22.3期		
		第3四半期 実績	増減額	増減率
売上高	1,121	956 ※1,299	- ※177	- ※15.9%
樹脂加工製品事業	673	750 ※750	- ※77	- ※11.5%
ケミカル事業	448	205 ※548	- ※100	- ※22.3%
営業利益	40	15	△ 25	△63.1%
樹脂加工製品事業	33	2	△ 31	△93.7%
ケミカル事業	8	14	6	75.2%
営業利益率(%)	3.6%	1.6%	-	-
樹脂加工製品事業	5.0%	0.3%	-	-
ケミカル事業	1.9%	7.3%	-	-

※ 「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の参考値

コロナ禍から急速に回復した前3Qに比べて、生産台数はマイナス



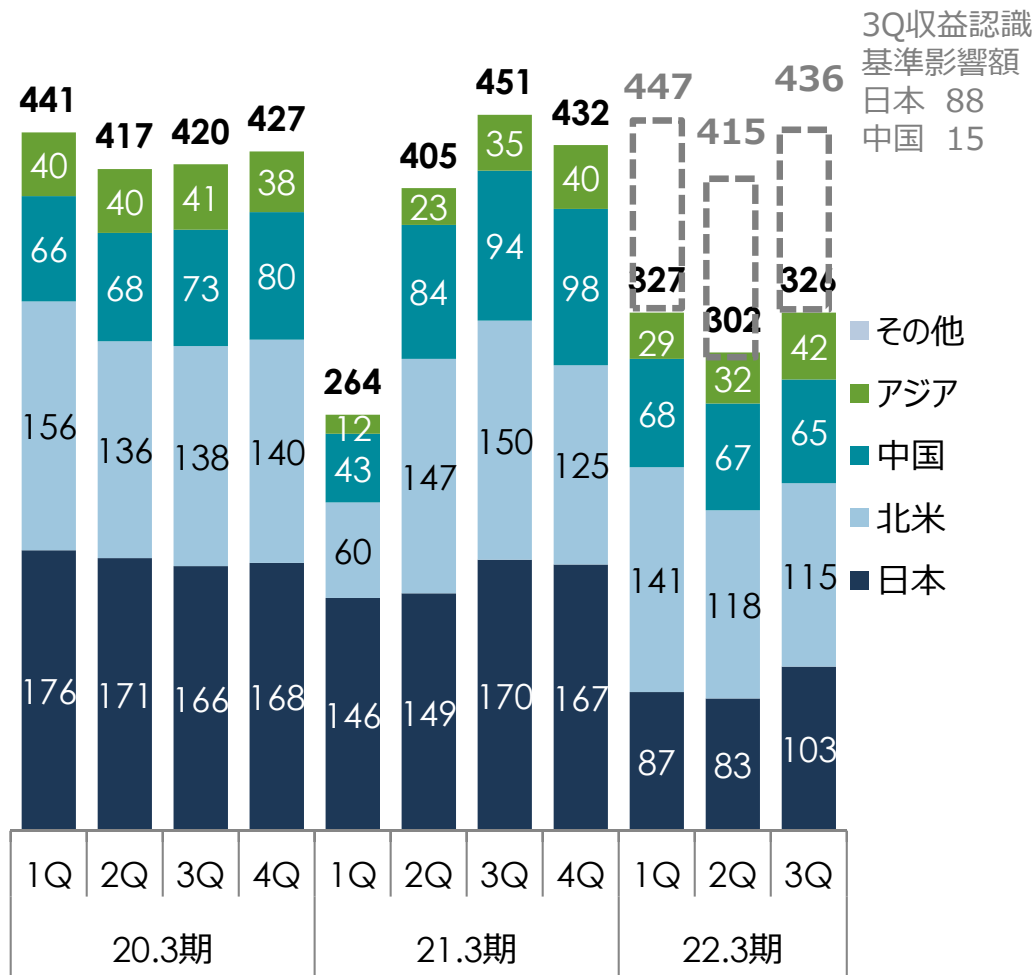
モビリティ、生活材料、ものづくり分野を中心にすべての事業領域で増益



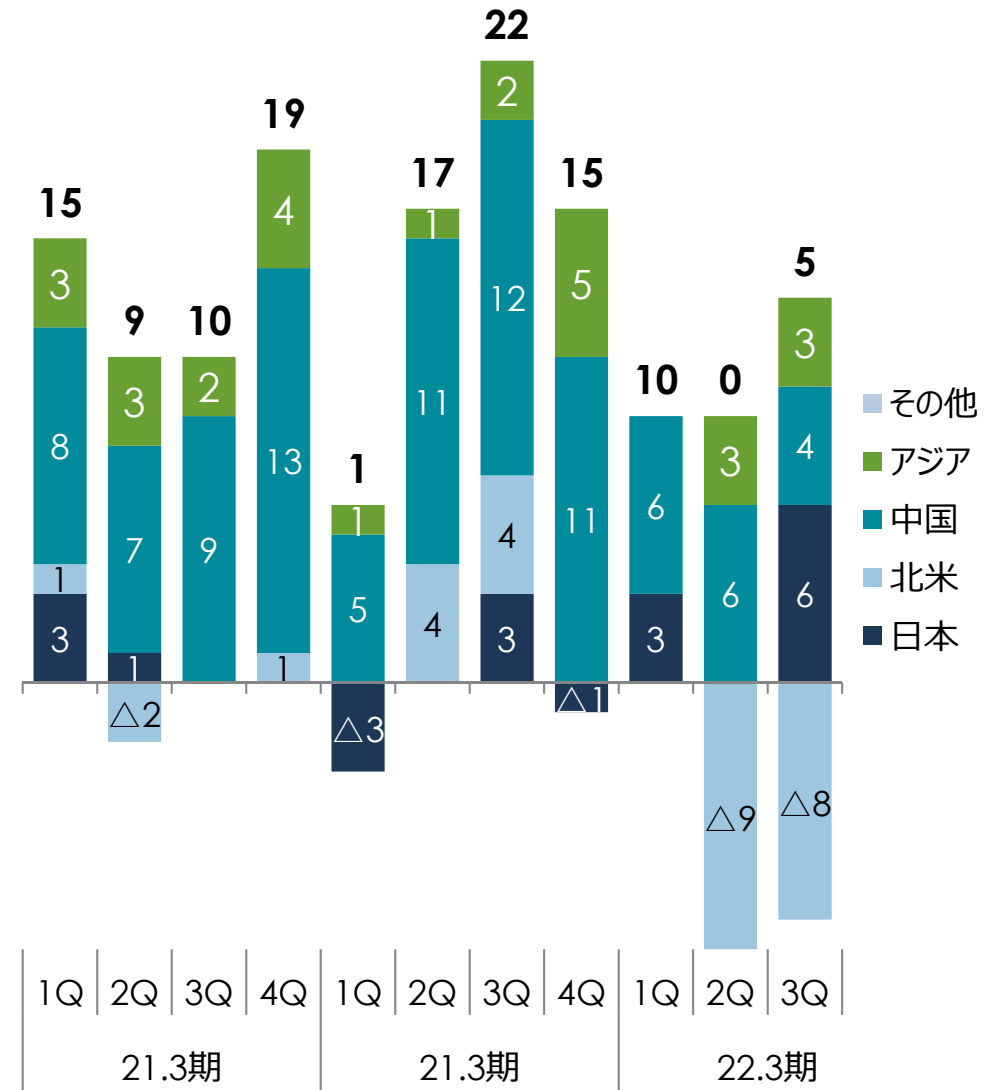
所在地別・四半期売上高、営業利益

北米：挽回生産に向けた要員確保による固定費増、メキシコの新機種立上げコスト増が加わり赤字

所在地別・四半期売上高（億円）



所在地別・四半期営業利益（億円）



2022年3月期 第3四半期決算 貸借対照表（概略）

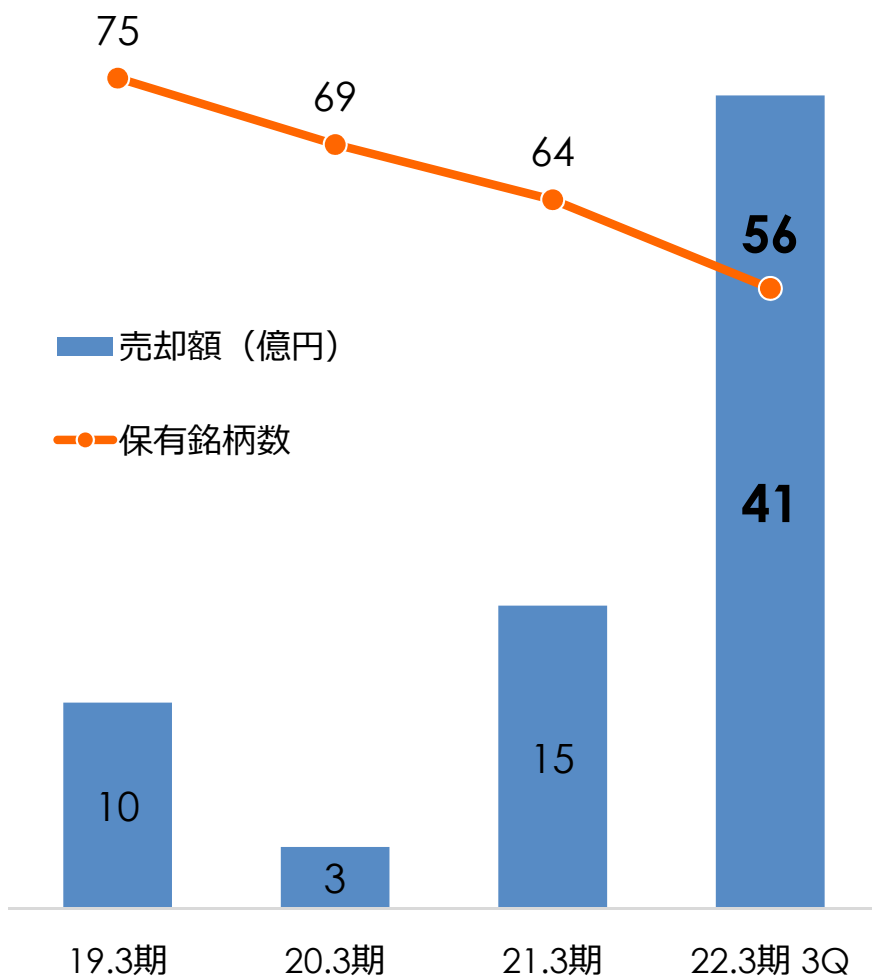
政策投資株式の縮減により、投資有価証券が減少、売上増による商品在庫が増加
 自己資本比率は51.5%、引き続き、安定した財務基盤を維持

(億円)

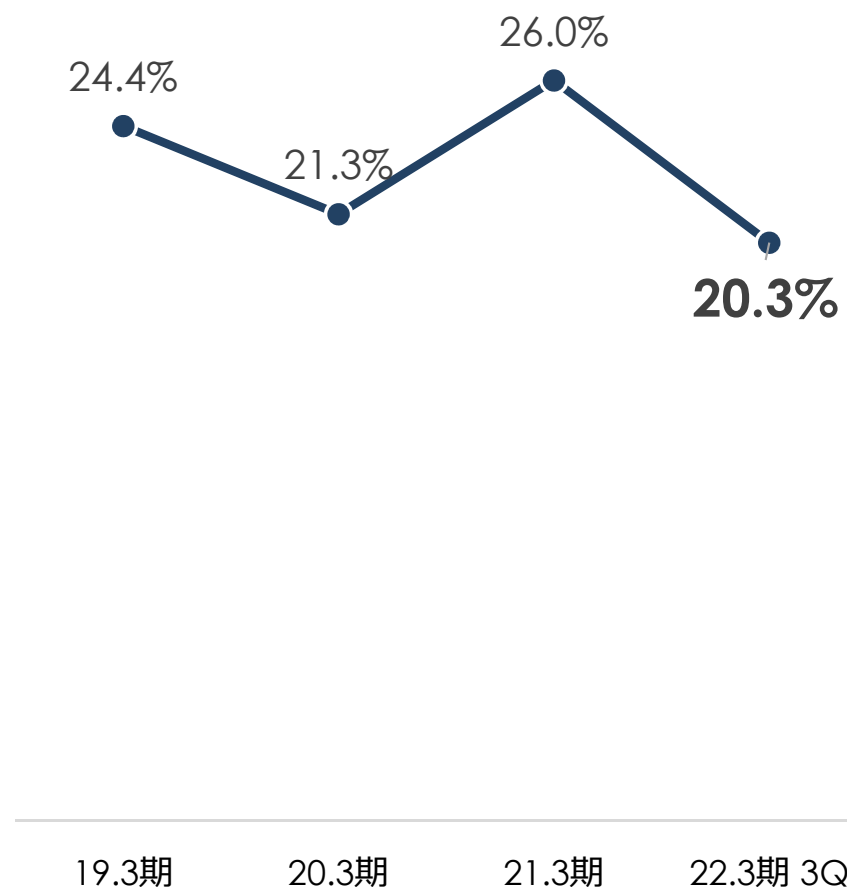
	21.3期末	22.3期 第3四半期末	差額		21.3期末	22.3期 第3四半期末	差額
流動資産	673	729	55	流動負債	510	538	27
（現預金）	179	174	△ 4	（買入債務）	233	257	23
（売上債権）	324	332	8	（短期借入金）	188	198	9
（在庫）	134	175	41	固定負債	117	98	△ 18
固定資産	655	611	△ 43	（長期借入金）	46	40	△ 5
（有形固定資産）	438	432	△ 5	負債合計	627	636	9
（投資有価証券）	182	142	△ 39				
				純資産合計	701	704	2
資産合計	1,328	1,340	12	負債純資産合計	1,328	1,340	12
				借入金	234	238	4
				自己資本比率	51.8%	51.5%	△0.3pt

2022年3月末までに投資有価証券残高を純資産対比20%未満に縮減計画
売却代金は、将来の成長や地球環境に配慮した設備投資へ充当

保有銘柄数と政策保有株式の累計売却額



政策保有株式の純資産対比



自社株買いの実施状況（2022年1月31日までの実績）

- ✓ 取得株式総数：**41万株**（進捗率 **69%**）
- ✓ 取得株式総額：**7億円**（進捗率 **77%**）

（参考）2021年11月12日 決議内容

- 取得株式数　：上限 **60万株**
（発行株式総数（自己株式除く）の3.62%）
- 取得株式総額：上限 **10億円**
- 取得期間　　：2021年12月1日から2022年11月30日まで
- 取得理由　　：経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能にするため。

森六グループが「100年企業顕彰」を受賞

優れた経営理念を掲げている老舗企業の1社として、第5回「100年企業顕彰」において、「**100年経営の会会長賞**」を受賞しました。



※ 授賞式に出席した栗田社長

今後も、ステークホルダーの皆様にご期待いただける企業を目指してまいります。

2021/11/12付け業績予想から変更なし
 主要顧客の挽回生産と、更なる政策保有株式の売却を見込む

(億円)

	21.3期 通期実績	22.3期 通期予想	増減額	増減率
売上高	1,554	1,360 ※ 1,780	- ※ 225	- ※ 14.5%
営業利益	56	30	△ 26	△47.1%
営業利益率	3.6%	2.2%	-	-
経常利益	55	32	△ 23	△42.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	3	52	48	-
EPS(円)	22.68	313.79	291.11	-
為替 米ドル(円)【期中平均】	106.1	113.0	6.9	6.5%
ナフサ価格(円/kl) 【期中平均】	31,300	56,000	24,700	78.9%

※ 「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の参考値

樹脂加工製品事業は、挽回生産を見込、人材育成、工程見直しの刈取り
ケミカル事業は、ナフサ価格高止まりの中、自動車向け樹脂、塗料などが堅調に推移

(億円)

	21.3期 通期実績	22.3期 通期予想	増減額	増減率
売上高	1,554	1,360 ※ 1,780	- ※ 225	- ※ 14.5%
樹脂加工製品事業	933	1,045 ※ 1,045	- ※ 111	- ※ 12.0%
ケミカル事業	621	315 ※ 735	- ※ 113	- ※ 18.3%
営業利益	56	30	△ 26	△ 47.1%
樹脂加工製品事業	45	13	△ 32	△ 71.6%
ケミカル事業	13	19	5	36.7%

※ 「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の参考値

設備投資額・減価償却費及び研究開発費 見通し

設備投資：新機種立上げ金型

環境投資（太陽光パネル、原料再生機、塗装、成形機電動化など）

減価償却費：概ね当初計画通り

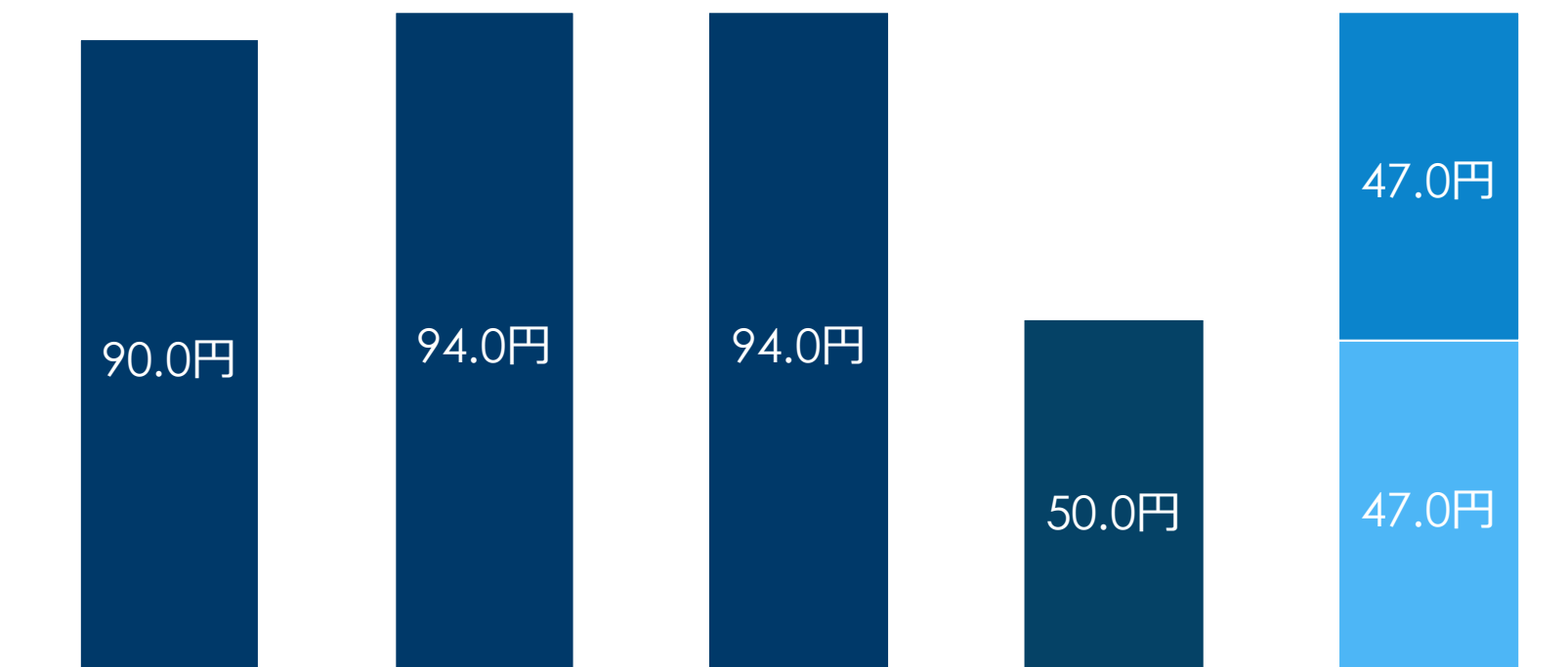
**研究開発費：概ね当初計画通り、環境商材（基材・塗料）、外装樹脂化
内装加飾の高付加価値化、大物外装向けホットスタンプ^o（メッキ代替）**

(億円)

	21.3期 通期実績	22.3期 通期予想	増減額	増減率
設備投資額	70	105	35	50.9%
減価償却費	70	81	10	15.5%
研究開発費	25	27	1	6.2%

年間配当94.0円の予想から変更なし

将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施



	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期予想
一株配当	90.0円	94.0円	94.0円	50.0円	94.0円
配当性向	20.2%	25.4%	44.2%	220.5%	30.0%

【ご注意事項】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。